

国語 第5学年 意見文を書いて読み合い、よいところを見つけよう

検討会の想定問答

指摘 1：ねらいが曖昧ではないか。この単元で何を身に付けさせたいのか。

返し：中心はB(1)カ「文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること」。本時はその読み合いの時間に当たる。書く段階ではB(1)ウの事実と意見の区別、知識及び技能では(1)オの語句の使い方と(1)カの記事の構成や展開を合わせて指導する。

指摘 2：評価規準は何か。どこで見るのか。

返し：3観点で書いた。文末は国立教育政策研究所の参考資料に合わせ、知識・技能と思考・判断・表現は「～している」、態度は「～しようとしている」。知識・技能②は第4時の構成メモ、知識・技能①と思考・判断・表現①は第5時の意見文、思考・判断・表現②は本時の読み合いカードとノート、態度①は第3時の見直しと本時の振り返りで見る。

指摘 3：言語活動は何か。

返し：B(2)ア「事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動」。身の回りの話題について意見文を書き、グループで読み合って感想や意見を伝える。

指摘 4：個に応じた指導はどうするのか。

返し：話題が決まらない子には、学級や学校で出ている話題を先生が一覧にして渡す。書くのが苦手な子には、構成メモの短冊と、主張・理由・反論の書き出しの型を渡す。早く終わる子には、反論をもう一つ考えて答えを書かせる。第3の1(9)の「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」に当たる。

指摘 5：ICTは使わないのか。

返し：二つ想定している。第4時に構成の短冊を端末の付箋にして並べかえること、本時に意見文を共有してコメントで段落を指して感想を書くこと。第3の2(2)の「コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会」に当たる。端末が無ければ紙の短冊と付箋で同じことができる。

指摘 6：教科書の例文どおりに書かせればよいのではないか。

返し：教科書の例文は、構成の工夫を見付けるための資料として使う。話題は子どもの生活から選ばせる。B(1)ア「目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び」に沿うためである。この指導案は指導事項から組んであり、どの会社の教科書でも置き換えられる。

指摘 7：6時間で書いて読み合えるのか。

返し：6時間は光村図書の年間指導計画例の配当に合わせた。話題集めや調べ足しは、社会科や総合的な学習の時間で調べていることと重ねると時間を取りすぎない。第3の1(5)は書くことの指導で「実際に文章を書く活動になるべく多くすること」としているの、書く時間（第5時）は削らない。削るなら第2時と第3時を一時間にまとめる。

指摘 8：話題によっては、主張の正しさの言い合いにならないか。

返し：本時の観点は、主張が正しいかではなく、構成や展開が明確になっているかである（B(1)カ）。読み合いカードも「納得できた所」から書く形にしてある。話題を選ぶ段階で、特定の人を責める話題や、家庭の事情に触れる話題は避けるよう助言する。教材の観点として第3の3(2)ウ「公正かつ適切に判断する能力や態度を育てるのに役立つこと」にも当たる。

指摘 9：発問が多すぎないか。

返し：本時の中心発問は「主張が納得できたのは、どの段落の、どんな書き方があったからか」の一つ。「どこをどう直すか」といふはその裏返しで、カードの欄に合わせた問い。全体には中心発問だけを板書する。

指摘 10：板書はどう使うのか。

返し：二つの意見文の構成を段落ごとの短冊で並べ、主張の位置や反論の置き方の違いが見えるようにする。B(1)カの「文章全体の構成や展開」を形にしたもの。子どもが見付けたよいところは観点ごとに書き足し、消さずに残す。

指摘 11：振り返りは何を書かせるのか。

返し：「構成や展開で工夫したこと」と「今度意見文を書く時にいかしたいこと」の二つ。二つ目で、学習の見通しをもって次の学習に向かおうとしているかを見て、態度①の評価に使う。

指摘 12：学習指導要領のどこに書いてあるのか。

返し：第2〔第5学年及び第6学年〕2内容B書くこと(1)ア・イ・ウ・オ・カと(2)ア、〔知識及び技能〕(1)オ・カ、学年の目標(2)(3)。原文は授業の設計図の「学習指導要領のどこに書いてあるか」の欄に載せた。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

